

活動状況報告書（9月分）

文化芸術コース 村上 琳泉

ほっかいどう未来チャレンジ基金第8期生の村上琳泉です。

私の滞在しているハンガリーの首都、ブダペストは最近急激に寒くなり、秋を飛び越え一気に冬の雰囲気に近づいてきました。調べてみたら札幌よりも気温が低く、大変驚きました。

こちらに来て早くも1ヶ月が過ぎました。リスト音楽院の開学150周年を記念したフラッシュモブコンサートに参加して、大学の本館前の広場で街の方々に向けてオーケストラで演奏する機会があったり、大学のホールで開催されている数々の演奏会やコンクールを間近でたくさん聴く機会があったりと、お陰様で毎日新鮮で密度の高い有意義な音楽漬け生活を送っています。

学校では、専攻楽器であるヴァイオリンのレッスン、室内楽（小編成の合奏）のレッスン、和声とソルフェージュ（音楽理論を含む基礎教育）の授業、ハンガリー語の授業を履修しています。さらに学校外では、ブダペストの各区にある音楽教室にて、未就学児～小学校低学年の、音楽教育に初めて触れる生徒達のヴァイオリンのレッスンと、ソルフェージュの授業を、ご厚意で見学させていただいています。そこでは私がイメージしていた授業方法とは異なり、身近なところから音楽に繋げて遊ぶように教えている所など、目から鱗の日々です。

このように、素晴らしい環境の中で自分の学びに専念できることに心から感謝しています。引き続き学校内、学校外での学びをたくさんインプットしてより良い留学生活にしてまいります。

ヴァイオリンのレッスンの先生と↓

大学のコンサートホールの様子↓



室内楽のレッスンの様子↓



ブダペストの音楽学校の授業風景↓

